

構想実現に向けた主な取組

取組	現時点での検討状況
アートを感じられるまちなみ整備	<p>令和5年度に発行した「プロローグ」に基づき、美術館・図書館の設計者である平田晃久建築設計事務所にまちなみ整備の監修を委託している。</p> <p>活用が考えられる場所の検討、および整備全体のコンセプトの検討を進めている。</p>
アートマルシェ	<p>令和6年度は9/14、15に開催。まちなかでのアート展開をより広げていくことを目的に、仮装した参加者がマルシェの会場や商店街を練り歩く事業「ねりび・あにまるぱれーど」を計画中。アートマルシェは美術館再整備基本構想のコンセプトの一つである「まちと一体となった美術館」をもとにした事業であり、令和7年度以降も継続開催し定着させることを目指す。</p>
(仮)アートコミュニケーター制度	<p>以下のように美術館を拠点とした(仮)アートコミュニケーターの活動を通じて、美術館と人、人と人、そして人とアートとまちをつなげていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般から募集し、常設展のギャラリートークや、誰でも参加できるワークショップの実施等を主体的に行うほか、まちの中で実施する展覧会、イベントの担い手として活動する</li> <li>・近隣の商店街などから募集し、美術館の広報スポットやワークショップ開催場所等として活動する（美術館応援団的な役割を担っていただく）。</li> </ul>
(仮)アートスポット事業	<p>住民や来街者が日常的にアートなパフォーマンスに触れることができ、このまちからアートの世界で活躍する人を支援するための場を中村橋駅周辺に設置することを検討している。</p>

## アートマルシェについて

美術館、図書館、近隣のお店等がそれぞれの特徴を生かした企画を実施し、相乗効果によりまちを盛り上げる。  
令和5年度から開催し、今年度は2回目となる。  
今後も「まちと一体となった美術館」の象徴となるようなイベントとして定着させることを目指す。

### 令和5年度の結果

日時	令和6年1月20、21日	
来場者	美術館ワークショップ	合計550名
	富士見中高映像作品上映	合計893名
	劇団サム公演	合計157名
	絵本読み聞かせ	合計64名
	リサイクル本頒布会	合計150名
	地域の方々の出店	約3000人
	中村橋について熱く語る会	合計14名



### 令和6年度の開催予定

日時	令和6年9月14日(土)、15日(日) 各日10～15時
実施企画	地域の方々の出店(飲食販売(味噌、パン、和菓子、ラムネ、綿あめ、かき氷)、木工ワークショップ) ねりび・あにまるぱれーど、ねりび・あにまるミニワークショップ リサイクル本頒布会 絵本読み聞かせ おとなのためのおはなし会

#### 開催の考え方

昨年度よりまちとの一体感を持ったイベントとするため、ワークショップで作った衣装を来てまちを練り歩くイベントを企画した。  
また、図書館が開催する企画を強化し、より美術館と連携してアートマルシェに参加する。

### 令和7年度以降

これまで会場としていた美術館、図書館、美術の森緑地が工事により使用に制限がかかる可能性がある。開催方法について、検討する必要がある。